

第1回草津市総合計画審議会

主な意見とその対応

平成20年10月27日

草津市政策調整課

(1) 草津市総合計画策定方針について

主な意見	対応
<p>(総合計画のあり方について)</p> <p>●総合計画の策定にあたっては、現場部局では未検討な先駆的な事や、分野横断的なことなどを議論していくことを視野にいれているのか。</p> <p>●市長が替わられた場合に、新市長がいざ動こうという時に、この総合計画に縛られることはあるのか。</p> <p>●今回の構想は、実現可能なレベルのことを話し合うのか、理想、こうなるべきだというビジョンを計画していくのか。確かに、これだけ時代の変化が大きくなってきた時に、今できる範囲のことを考えるより、「将来草津はこのような都市になるべきだ」というところが見えてくるような構想を今回やるべきではないか。</p> <p>●この計画は市の一番上位計画である。であれば、市長が替わろうが、ある意味で市民の総合的な理想ビジョンのようなものを一つつくらなければならない。</p> <p>市長が替わってマニフェストが少し変わる、事業計画などが変わっていくこともあるだろうが、それらの事業案が出てきたときに、それを現実的な形で総合計画ビジョンと併せて、これはイエスとっていいのか、ノーとしなければいけないのかを照らし合わせるような、ある意味で大げさにいえば憲法のようなものをつくるがこの計画である。</p>	<p>●都市計画といったまちのハードの面や教育、福祉といった全般にわたって草津市の特性を見出しまとめています。</p> <p>●基本構想は草津市が目指していく将来の都市像という意味で、約10年の長期のスパンで描いていきます。</p> <p>その下に基本計画を策定いたしますが、構想を踏まえつつも、市長のマニフェストを一定反映し、整合がはかれるよう市長の任期と合わせ、4年の計画期間で見直す考えであります。</p> <p>●今回の総合計画については、将来の草津をどのような都市にしていくのかということ、市民の方と一緒に都市像として描き、そうしたビジョンに向けて何をしていかなければならないかということなどを議論していきたいと考えています。</p> <p>●基本構想は草津市が目指していく将来の都市像という意味では、草津市の総合的なビジョンとして、その方向に向かってまちづくりを進めていく必要があります。</p> <p>当然、市長が替わってマニフェストが少し変わるとしても、そのビジョンにむかっての手段が変わることはありますが、基本的には、そのまちのめざす都市像は変わるものではないと考えています。</p>
<p>(実効性のある計画づくり)</p> <p>●今後の策定審議会を含めて、「(3) 財政状況に即した計画づくり」「(4) 行政運営に行政経営の視点を取り入れた計画づくり」をどの程度ふれていくのか。単に「くさつ2010ビジョン」の焼き直しで留めるのか。</p>	<p>●今回、基本計画を4年のスパンに縮めることにより、財政状況に裏づけられた計画の施策の展開、成果志向と目標管理といった観点からの計画の進行、管理が図れるようにしていきます。</p>

<p>●計画や事業を組み上げて行く段階において財政的なことをどのように対処していくのか考える必要がある。「提案してまとめたが予算が無い」では計画が無駄になる。事務局は、意見が出てきた段階に応じて、早めに交通整理を行い、計画が無駄にならないように配慮すべきだ。</p>	<p>●今回、基本計画を4年のスパンに縮めることにより、財政状況に裏づけられた計画としたいと考えていますが、その事業内容においては、成果と目標といった観点を踏まえ、財源確保が出来ればなどの優先順位も視野に入れた計画にしていきたいと考えています。</p>
<p>(市民参画について)</p> <p>●「座・でいすかす」の名称からは、「無作為に選ばれた方に来ていただいて、その方々に、課題の解決策を議論してもらう」という取り組み内容を把握することが難しい。「議論する」という意味が伝わる名称に、再検討すべきである。</p> <p>●市民参画として、色々な方法で事務局が取り組んでいる。この審議会においても、参画の仕方について委員自身ももっと知恵を出す必要がある。</p> <p>●審議会をオープンにすべき。本日の案内はエレベーターのところに貼ってあったが、市民が一番通るフロアの目立つところに案内をだすべきである。</p> <p>●傍聴に参加しやすいように場所を8階ではなく、例えば1階や2階、もっとオープンな場所で開催を検討してはどうか。</p> <p>●ここにいる委員の意見が他の方をどう巻き込むかということはプロセスにあると思います。審議会の委員には、各種団体の代表の方が多く選ばれている。代表の方は、この場の議論や会員の方の意見を持ってここへ出て来る。そうすることで多くの人の意見が拾える。</p> <p>●計画策定段階をどのように市民に見せていくかが非常に重要。この会議のスタートにあたっては、新聞、公報等の報道を使ことが必要である。計画のプロセスを見せる手法についてもアイデアを考えたい。</p> <p>●参画を実際どうするのかということと同時に参画感をどう持つのかというこの両方が大変重要であり、その点は試行錯誤しながら留意していくことである。</p>	<p>●「座」も「でいすかす」もある意味で同じような思いをそれぞれもっており、「車座になって」、「みんなが集まって」という意味からこの名称をつけた。ご指摘頂いた「議論する」という点が伝わるようにサブテーマを設けて、できるだけわかりやすく伝わりやすいようにしていきます。</p> <p>●今回の総合計画の策定方針において、「対話」と「協働」による総合計画づくりを進めるため、様々な手法により、多くの意見聴取に努め、計画策定の各段階において市民の参画に取り組むように考えており、審議会でも、参画の仕方についてご提案をいただければ出来る限り取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>●審議会の案内を、市民の目に着きやすいところへ掲示していきます。</p> <p>●開催場所についても、市役所だけでなく、いろいろな工夫をして開催していきたいと考えています。</p> <p>●審議会の委員には、学識経験者の方、公募委員の方、各種団体の代表の方等いろいろな分野で活躍をされている方でありますので、委員の皆様いろいろな分野のご意見を総合計画に反映していきたいと考えています。</p> <p>●ホームページ等で審議会等議事内容を積極的に公開する中で、総合計画の策定プロセスを市民の皆様に見ていただきたいと考えています。</p> <p>●今回、市民の皆様の参画感をもっていただくことはたいへん重要でありますことから、委員の皆様のご意見もいただきながら、市民の皆様将来ビジョンが共有していただけるよう創意工夫して、市民の皆様によりわかりやすい計画づくりにしていきたいと考えています。</p>

(2) 今後の審議スケジュールについて

主な意見	対応
<p>●委員の多くは仕事を持ち、かつ要職についており、多忙な人が多い。1か月に1回、これだけのメンバーが集まり参加できるのか疑問である。2か月に1回、4時間実のある会議にしてもらいたい。また、この会議とは別に部会を設けられても対応しきれない。</p> <p>●開催時刻 14時～16時は1日仕事ができない時間設定である。夕方遅め、朝、午前中など開催時刻に配慮願いたい。</p>	<p>●開催時間、頻度等は委員長、委員の方と調整しながら、1回の開催に出来るだけ時間をいただいて、議論をお願いします。</p> <p>●部会は、新たに別の部会で組織をするのではなく、第4回、5回当たりの細かい項目での議論が想定される場合に、1回の会議を二つの部会に分けて議論することを想定しています。まだ詳細は未定ですので、後日決まり次第、委員の皆様と調整をしたいと考えています。</p> <p>●委員長と相談をしながら、配慮した時間設定にさせていただきたいと考えています。</p>

(3) その他

<p>●基本構想の審議は多分野に渡り、幅広く議論することになる。事務局の体制は、政策調整課だけになっているが、各部局を揃え、議論への参加、経過を見通していただくと次のステップへと合理的につながるのではないか。</p>	<p>●事務局の体制について検討。</p>
--	-----------------------